

第1回
沼津港振興基本計画策定委員会
～新たなビジョンの策定～

平成26年12月1日
静岡県

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

目次

1. これまでの経緯	…2頁
・事業の進捗状況	…3頁
・沼津港周辺の施設の現況	…4頁
2. 会議の目的	…5頁
・新たな沼津港の将来像	…5頁
・策定委員会の目的	…5頁
3. 沼津港の魅力	…6頁
・沼津港の地理	…7頁
・沼津港の歴史・文化	…12頁
・沼津港の観光	…17頁
・沼津港の食	…23頁
4. 沼津港の進むべき方向性	…27頁
・沼津港の「強み」を考える	…28頁
・沼津港の方向性	…29頁
5. 沼津港の将来像（素案）	…32頁
6. 第1回有識者会議発言要旨	…33頁
7. 今後の予定	…34頁

1. これまでの経緯

【沼津港港湾振興ビジョン】

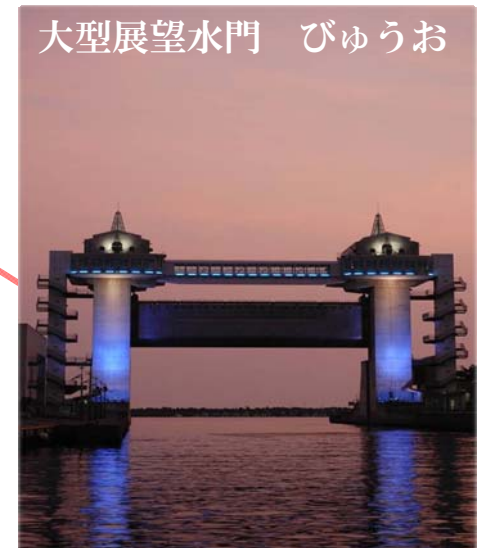
- ▶沼津港は、平成12年に特定地域振興重要港湾に指定されたことを受けて、平成14年3月に静岡県が沼津市と協議の上「沼津港港湾振興ビジョン」を策定し、航路水門「びゅうお」や水産複合施設「イーノ」、マーケットモール「新鮮館」の整備など、官民あげて港の賑わいづくりを進めてきた。
- ▶この間、背後エリアの商店街の開発も進み、年間145万人以上もの来訪者が訪れるなど他港にはない賑わいを見せている。その一方で、統一感のある景観形成や水域の活用の仕方などに、未だ課題を残している状況にある。



【新たな将来像の策定】

- ▶ビジョン策定から10年以上経過し、沼津港を訪れる観光客が増加する中、定期航路が廃止される等、港を取り巻く情勢も変化している。新しい時代に適応し、**沼津港をより高質な空間へと導くため**、「新たな将来像」を描き、港を活用した**沼津港発の地方再生**を目指す。

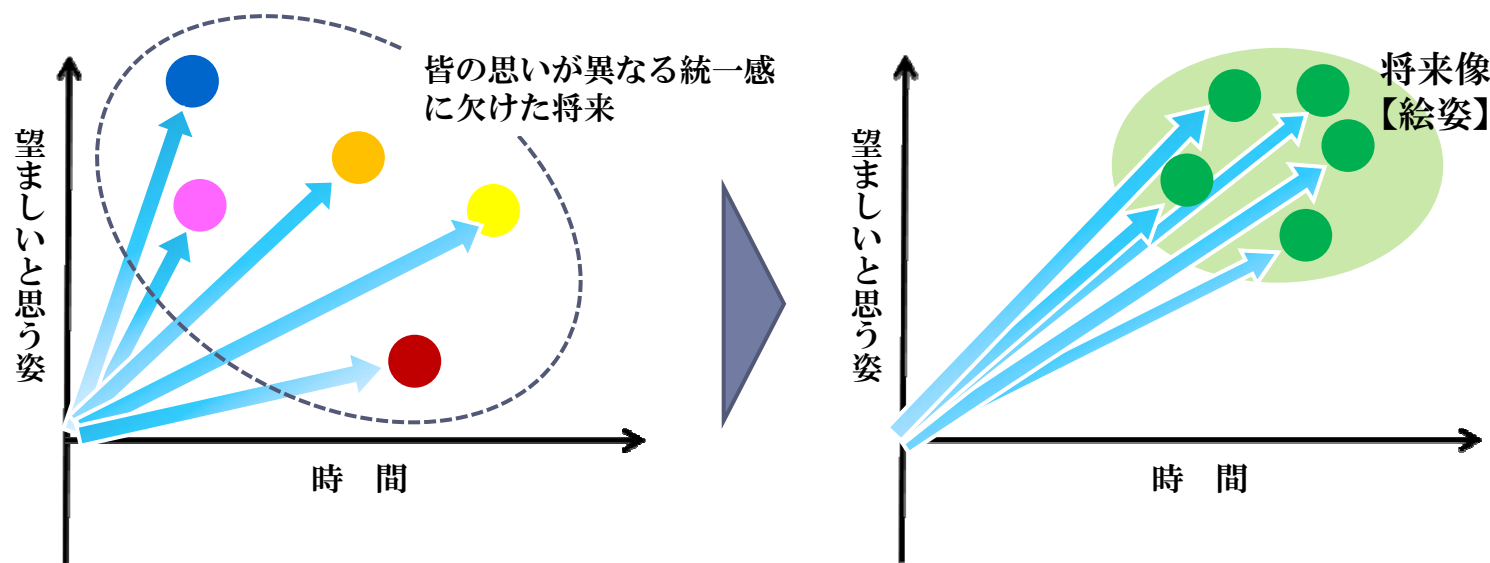
沼津港周辺の施設の現況



2. 会議の目的

新たな沼津港の将来像

- ▶ 港湾管理者である県が、沼津市及び市民・民間事業者などの多様な方々と連携・協力して沼津港の“ここにしかない”魅力を高め、「住んで良し、訪れて良し」のみなとまちづくりを推進するために定める、概ね20年先を見据えた長期構想。



策定委員会の目的

- ▶ 有識者会議では、沼津港の目指す将来像【絵姿】を示し、そこに係る人々が意識を共有し、連携してみなとまちづくりを推進していく。
- ▶ **10年以内での実現を目指す具体的な行動計画として、「沼津港振興基本計画」を策定委員会で検討する。**

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

3. 沼津港の魅力

➤ 地理 …7頁

- ・首都圏近郊で県東部・伊豆地域の交通の結節点
- ・富士山や伊豆ジオパーク等豊富な自然景観

➤ 歴史・文化 …12頁

- ・皇族・文化人が避暑地・保養地として利用した史跡・旧跡が周辺に点在
 - ・港湾の歴史は昭和初期から

➤ 観光 …17頁

- ・地域全体が落ち込む中、入込客数を増やしている沼津港
- ・各種イベントも実施し、地域で一番の賑わいを見せる

➤ 食 …23頁

- ・観光客が目当てとするのは沼津港の「食」
- ・全国ブランドのあじの干物や駿河湾特有の深海魚



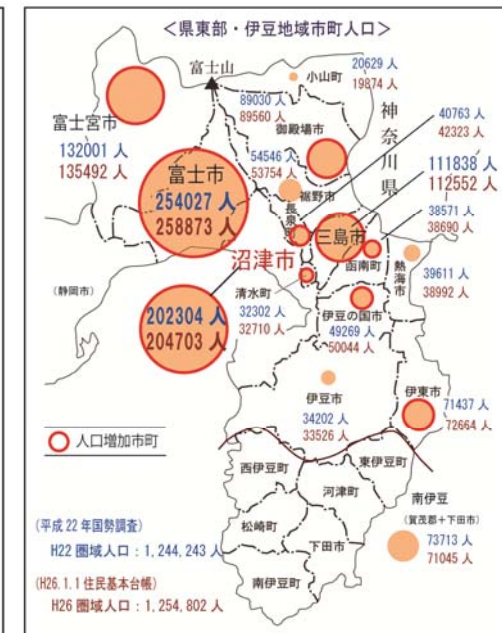
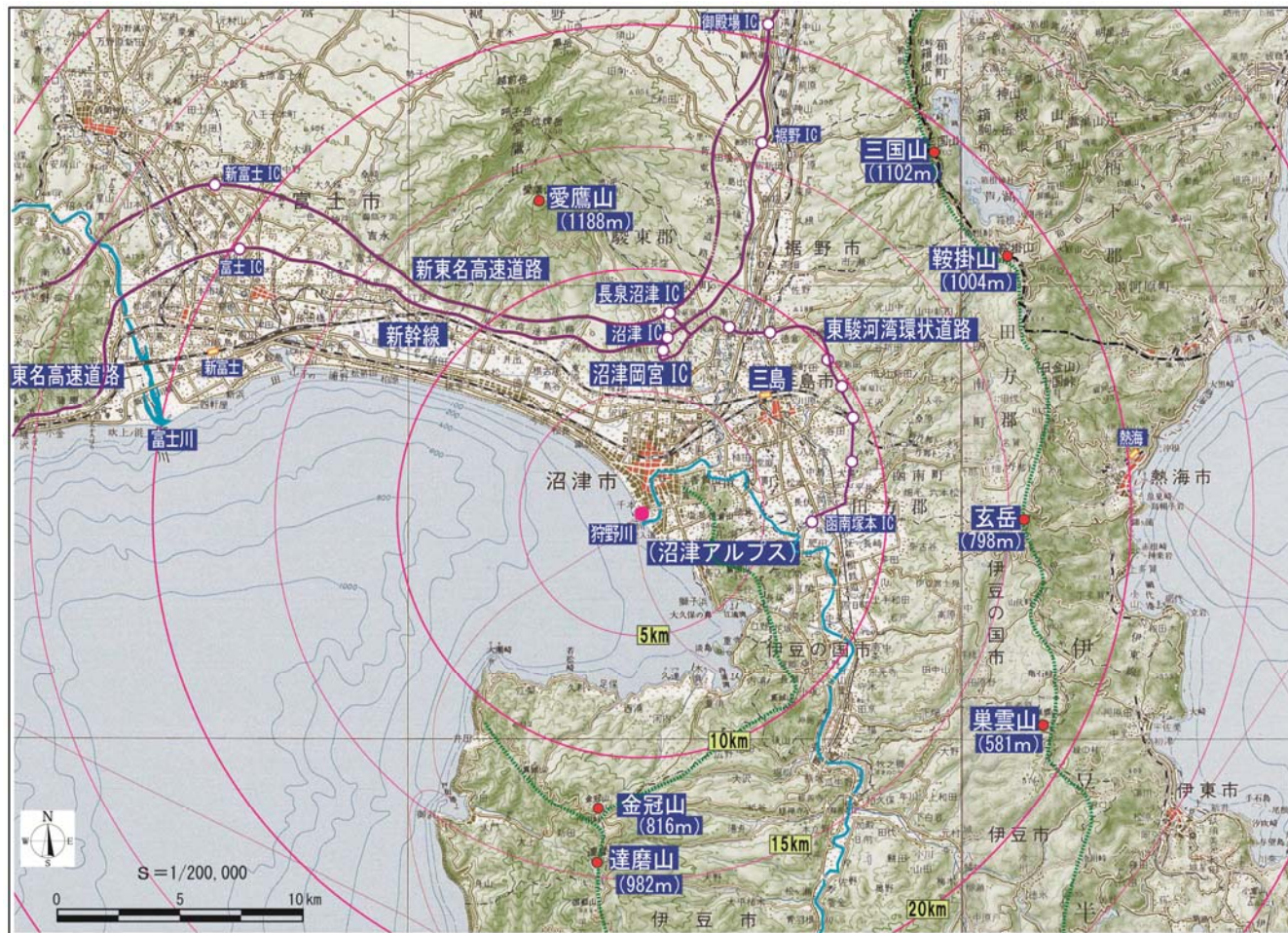
沼津港の地理

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

沼津市の地理的特性

- ▶ 東京－大阪を結ぶ国土軸上に位置することから、新幹線や東名高速道路に近接するとともに、伊豆半島の付け根に位置し、東駿河湾地域、伊豆方面への交通拠点となっている。
- ▶ 東京から約100km圏内であり、首都圏からの日帰り旅行にも対応できる。
- ▶ 県東部では富士市に次いで人口が多く、中心都市としての役割を果たしている。203,134人、世帯数89,828世帯（平成26年10月1日現在）。ほぼ横ばいで少子高齢化が進んでいる。



沼津港の交通アクセス

- ▶ 東京から沼津までは、高速利用で約80分。新幹線だと約60分。
- ▶ 東名沼津ICから沼津港までは約8km、所要時間は約20分。
- ▶ JR沼津駅-沼津港間は約2km。バスを利用する客が多い。（所要時間約10分）
- ▶ バスは平日は1日32本（ピーク時1時間あたり3本）運行。休日は35本に増便している。



引用: 沼津市観光総合パンフレット(沼津観光協会)

沼津港から西伊豆方面 所要時間の比較

- ▶ 戸田まで 陸路で約60分、海路で約30分
- ▶ 土肥まで 陸路で約70分、海路で約50分
- ▶ 松崎まで 陸路で約100分、海路で約80分

※ただし、定期航路は廃止。現在は運行していない。



- ▶ 沼津駅-沼津港間は約2km。あまり歩く人はいないが、徒歩だと約30分。
- ▶ 蛇松緑道や狩野川沿いを歩いて港まで行くこともできる。
- ▶ 潮の音プロムナードは、千本松公園から御用邸付近まで約6kmの散策コース。

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

沼津港周辺の自然特性

- ▶ 沼津港周辺の広域的な自然景観特性としては、千本松原を有する砂州、狩野川、駿河湾奥に一番近い山地である沼津アルプス、富士三脚の一つである愛鷹山、愛鷹山越しに見える富士山等があげられる。
- ▶ 2012年に伊豆半島が日本ジオパークに認定された。2015年には世界ジオパーク認定を目指す。



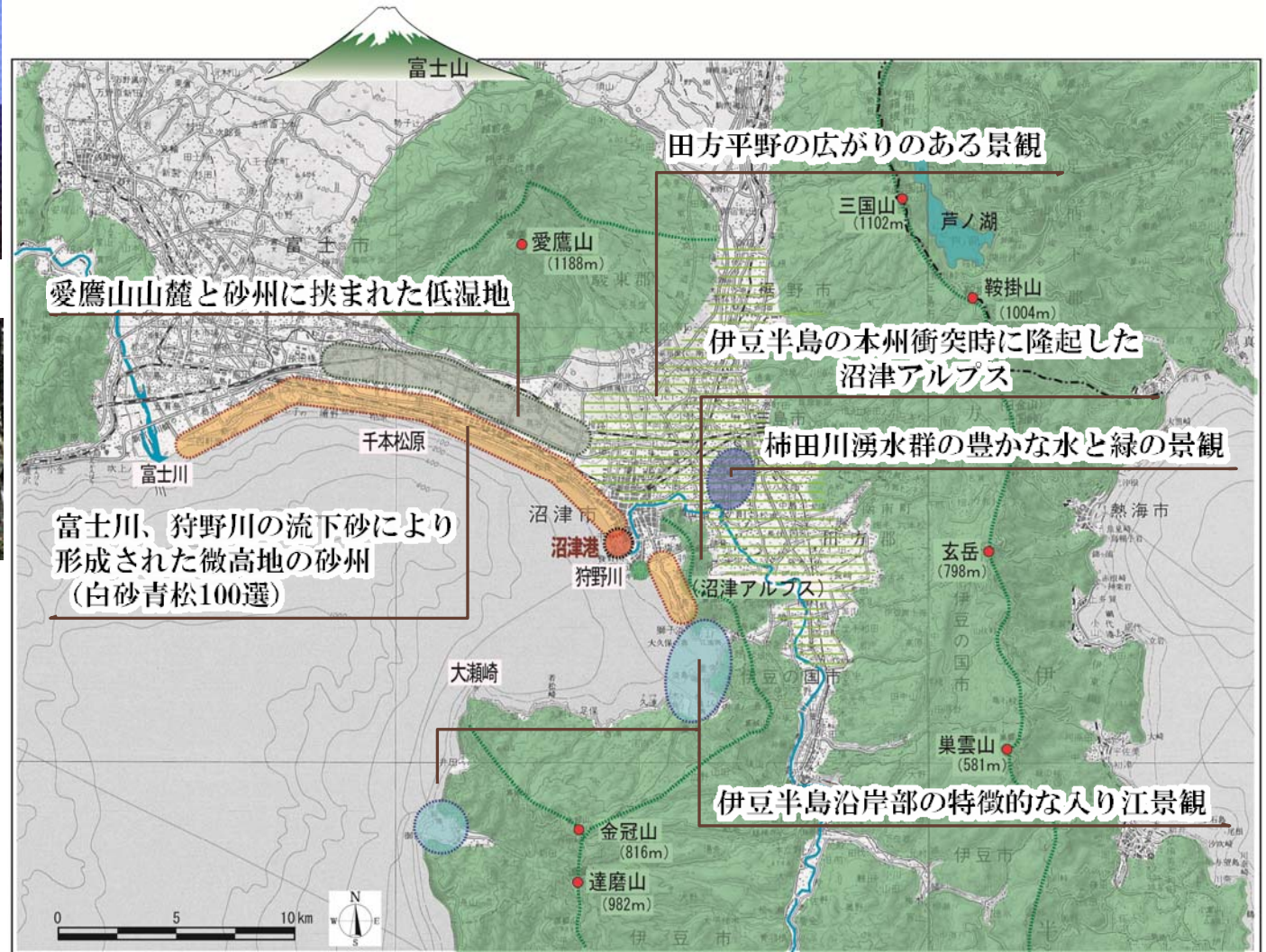
富士山と愛鷹山
写真引用: 沼津市HP



千本松原
写真引用: 沼津市HP



沼津アルプスと狩野川・沼津港
写真引用: 「伊豆半島ジオパーク構想指針書」
(静岡県 2011年1月)



沼津港周辺のジオサイト

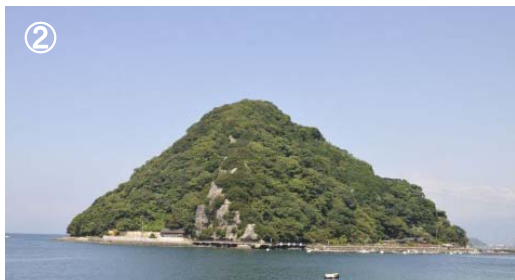
- ▶ 伊豆半島ジオパークのメインテーマは、伊豆半島がフィリピン海プレートに載って南から北火山島であったことに由来し、「南から来た火山の贈りもの」となっている。
- ▶ 北伊豆（沼津・三島地区）エリアには8か所、大瀬崎・戸田エリアには3カ所のジオサイトがある。



① 千本浜・牛臥山ジオサイト（牛臥山東）



④ 井田ジオサイト（井田火山の溶岩流）



② 静浦・内浦ジオサイト（淡島）



⑤ 戸田ジオサイト（御浜岬）



③ 大瀬崎ジオサイト（神池）



⑥ 柿田川ジオサイト（柿田川湧水）
写真引用：伊豆半島ジオパーク推進協議会HP



Image © 2014 TerraMetrics
Data Japan Hydrographic Association

伊豆の国
戸田の港ゆ
船出すと
はしなく見たれ
富士の高嶺を

夏雲の
垂りぬる陰に
うす青み
沼津より見ゆ
富士の裾野は

沼津港の歴史・文化

駿河なる
沼津より見れば
ふじがねの
まえに垣なせる
あしたかの山

松原の
なかゆく道の
いつか曲り
海辺に出でて
富士の山見ゆ

歌 若山牧水
「牧水 富士山」より
公益財団法人沼津牧水会 発行

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

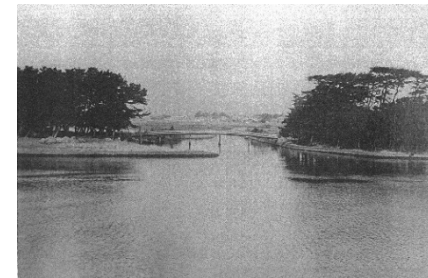
静岡県交通基盤部



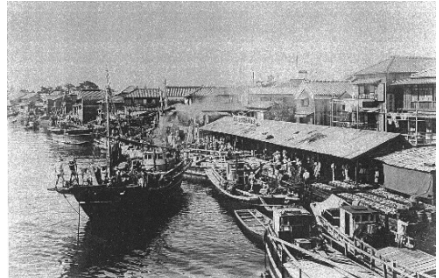
沼津港の歴史的背景 その1

写真引用「写真集 沼津いまむかし」(鈴木憲二 監修 郷土出版社 昭和62年10月)

沼津市は、県東部の人や貨物の集散地として重要な役割を有していたが、伊豆沿岸地域との往来に適当な港は有していなかった。狩野川河岸（永代橋の下流付近）に漁船をつけ、魚市場を開いていたが、狩野川は土砂の堆積が多いため、漁船の大型化などに対応できず、将来に危機感を覚えた鮮魚商の有志が大正末期から河口に新たな港湾を民間でつくるべく、用地買収、工事申請などを行った。その後、県の施工により昭和12年に内港が竣工した。



内港ができる前の観音川の狩野川合流部



永代橋下流の昭和初期の魚市場

年代 (時期)	沼津港関連事項	その他トピックス
明治21年 (1888)	東海道線の建設資材運搬のため、狩野川の船着場から沼津駅まで蛇松線が敷設	明治22年 (1889) 東海道線が全線開通
昭和初期	港は整備されておらず、永代橋下流右岸、魚町・中町・宮町周辺は沼津湊の河岸場として、魚市場が開かれていた。	大正9年 (1920) 歌人若山牧水が沼津に転居 昭和3年 (1928) 若山牧水が死去
昭和8年 (1933) 12月	ドック式泊地の開削に着手 (水深-3.5m, 泊地: 33000㎡, 物揚場: 720m)	昭和8年 (1933) 4月 富士国立公園観光協会が設立
昭和12年 (1937) 5月	内港竣工 (旅客、諸物産の海上輸送が活発となり、これに伴い運送業者も集結)	昭和9年 (1934) 丹那トンネルが完成
昭和21年 (1946)	臨港鉄道、臨港道路が整備 静岡県が管理する地方港湾に指定	
昭和29年 (1954)	西伊豆航路が就航	
昭和33年 (1958) ~	第3次港湾長期整備計画により外港整備が開始	
昭和45年 (1970)	沼津外港が開港	昭和45年 (1970) 年我入道公園内に芹沢文学館開館
昭和47年 (1972)	内港と外港を結ぶ航路が完成	
昭和49年 (1974)	沼津港線 (沼津駅~沼津港駅間の貨物専用線) が廃線、蛇松緑道として再整備	昭和49年 (1974) 沼津歴史資料館開館 昭和62年 (1987) 若山牧水記念館開館
平成12年 (2000)	国土交通省から、地域の振興に重要な役割を果たすことが期待される港として「 特定地域振興重要港湾 」に選定	平成13年 (2001) 沼津市が特例市に移行
平成16年 (2004) 9月	展望施設を備えた大型水門「びゅうお」が完成	
平成19年 (2007) 11月	「みなのオアシス」に認定 水産複合施設「沼津魚市場 INO (イーノ)」がオープン	
平成21年 (2009) 4月	マーケットモール「沼津みなと新鮮館」がオープン	平成23年 (2011) 12月 沼津港深海水族館オープン 平成24年 (2012) 9月 伊豆半島ジオパークが日本ジオパークへ加盟
平成26年 (2014) 8月	西伊豆方面への定期航路が廃止 (不定期船、遊覧船等の運行は継続)	平成25年 (2013) 6月 富士山が世界文化遺産に登録
平成26年11月・現在	防災のための堤防改良工事 (鋼矢板工) 等を実施中。	

沼津港の歴史的背景 その2

現在の沼津港

大正15年の狩野川河口。
港はまだない。



昭和3年の狩野川河口。
導流堤が作られている。



昭和10年頃の地図。内港ができ、導流堤は、クロダイの「釣り魚名所」で、観光地として○表記されている。



地図引用「地図が語る沼津の歩み」
(沼津市明治資料館 編集・発行 2002年12月)



昭和20年代、内港に水揚げされたイルカ



明治20年頃 蛇松にて土砂を運ぶ作業船
写真引用「古絵葉書に見る東海の富士」
(市川博康 編集・発行 2013年4月)



御成橋下流の定期船・観光船発着場
(昭和20年代末まで使用、昭和30年代から沼津港発着となる。)



昭和49年8月 沼津港線の廃止
写真引用 沼津市HP



昭和40年頃の我入道の渡し舟



イーノなどができる前(約26年前)の沼津港
写真引用「空から見たふるさと 沼津」
(友野博 著 静岡郷土出版社 1988年11月)

写真3点引用「沼津今昔写真帳」
(青木徳安 編集 郷土出版社 2008年8月)



沼津港の観光

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部



伊豆地域と沼津市の観光動向

伊豆地域

- ▶AAの水質基準を持つ**良好な海、温暖な気候、自然環境、歴史的背景、温泉、食**など魅力的で多彩な観光要素があり、**日本を代表する観光地**の一つである。
- ▶温暖な気候を生かした**植物園**や多彩な農林水産物を活用した**ヘルスツーリズム、グリーンツーリズム、スポーツツーリズム**など**体験・交流型観光**が進展している。
- ▶**宿泊客の割合が多く**、関東地域が7割以上を占める。
- ▶日帰り客は県内客が6割と多いが、関東からも3割近く来訪。
- ▶外国人観光客は県内来訪者の14%。韓国、中国、台湾で伊豆半島来訪者の72%を占める。

伊豆地域の観光ターゲット

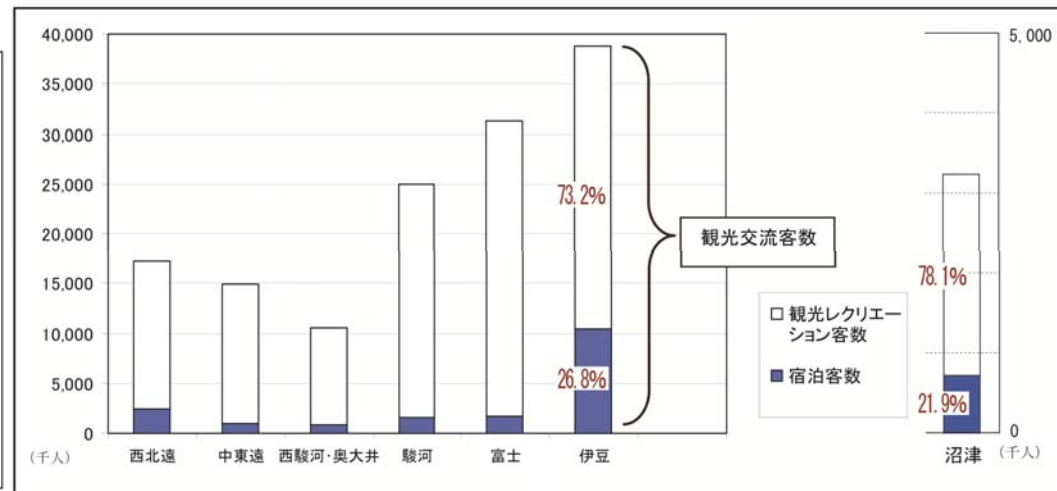
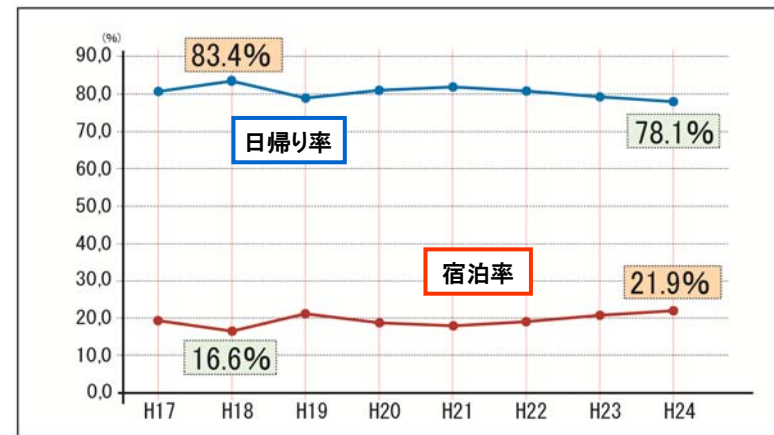
- ▶宿泊客は関東圏を対象とし、日帰り客は県内、次いで関東圏を対象とする。
- ▶「50歳以上のシニア層（特に夫婦）」をメインターゲットとし、次いで「子供を含めた30、40歳代のファミリー層」を対象とする。

※上記コメントは「ふじのくに観光躍進基本計画」(静岡県 平成26年3月)を参考



沼津地域

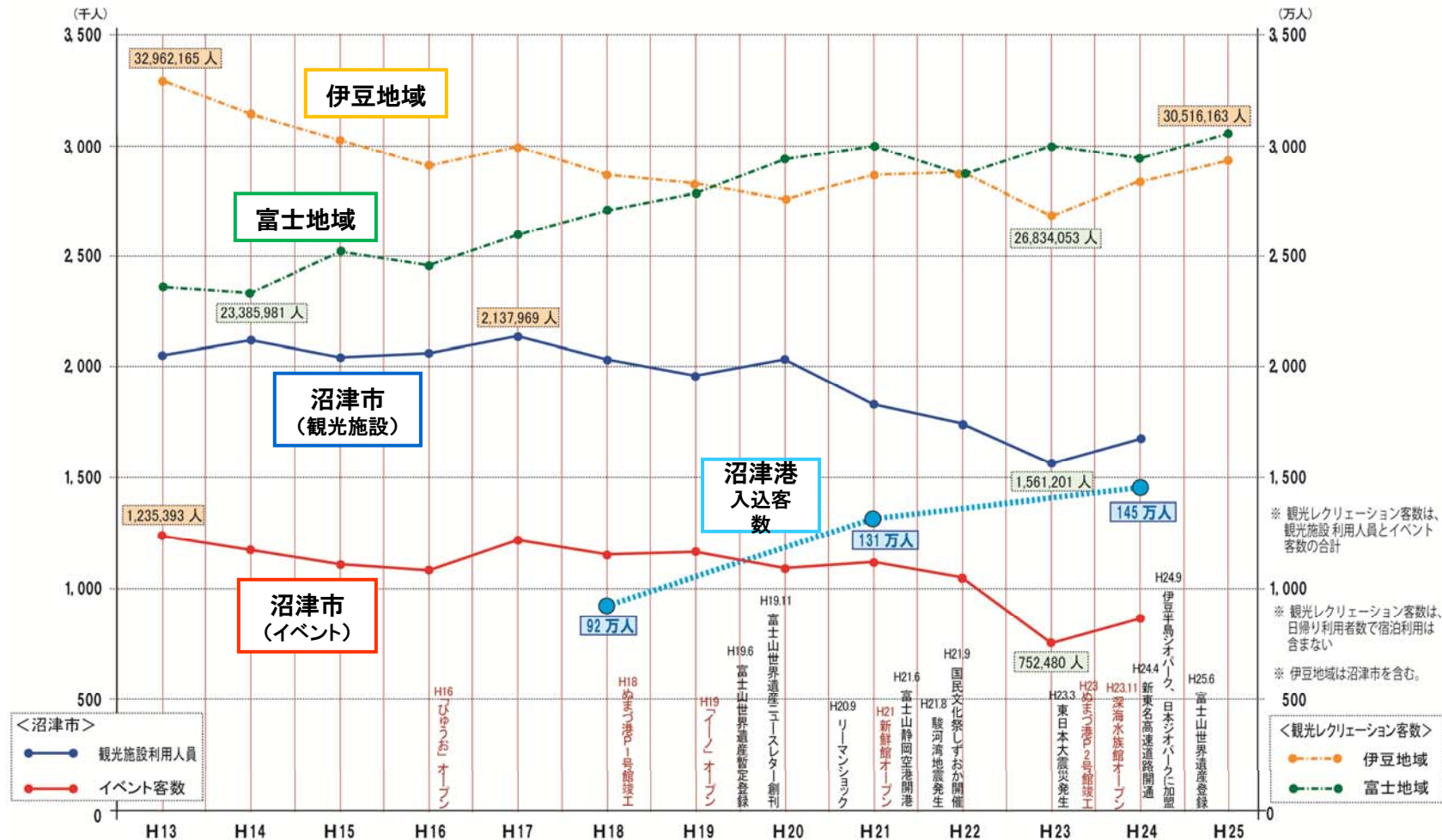
- ▶海越しに眺める富士山や千本松原に代表される長い海岸美、戸田の入り江景観、海の幸など「海」の魅力性が高い地域である。
- ▶伊豆地域への玄関口としての機能を有していることから、立ち寄り利用が多く、伊豆地域に比べて宿泊客の割合は20%前後と低い。



引用:「平成24年度 静岡県観光交流の動向」(静岡県文化・観光部 観光・空港振興局 観光政策課 平成25年11月)資料に加筆

伊豆・富士地域と沼津市・沼津港の観光動向

- ▶ 伊豆地域は、減少傾向にあったが、H20年以降は横ばいに近い。
- ▶ 富士地域は、増加傾向にあったが、H20年以降は横ばいに近い。
- ▶ 伊豆地域、沼津地域は東日本大震災の影響でH23年は大きく落ち込んでいる。
- ▶ 富士地域はその影響が見られない。
- ▶ 沼津市の観光施設利用、イベント客数が減少傾向を示す中、**沼津港の入込客数は、年々増加傾向にある。**

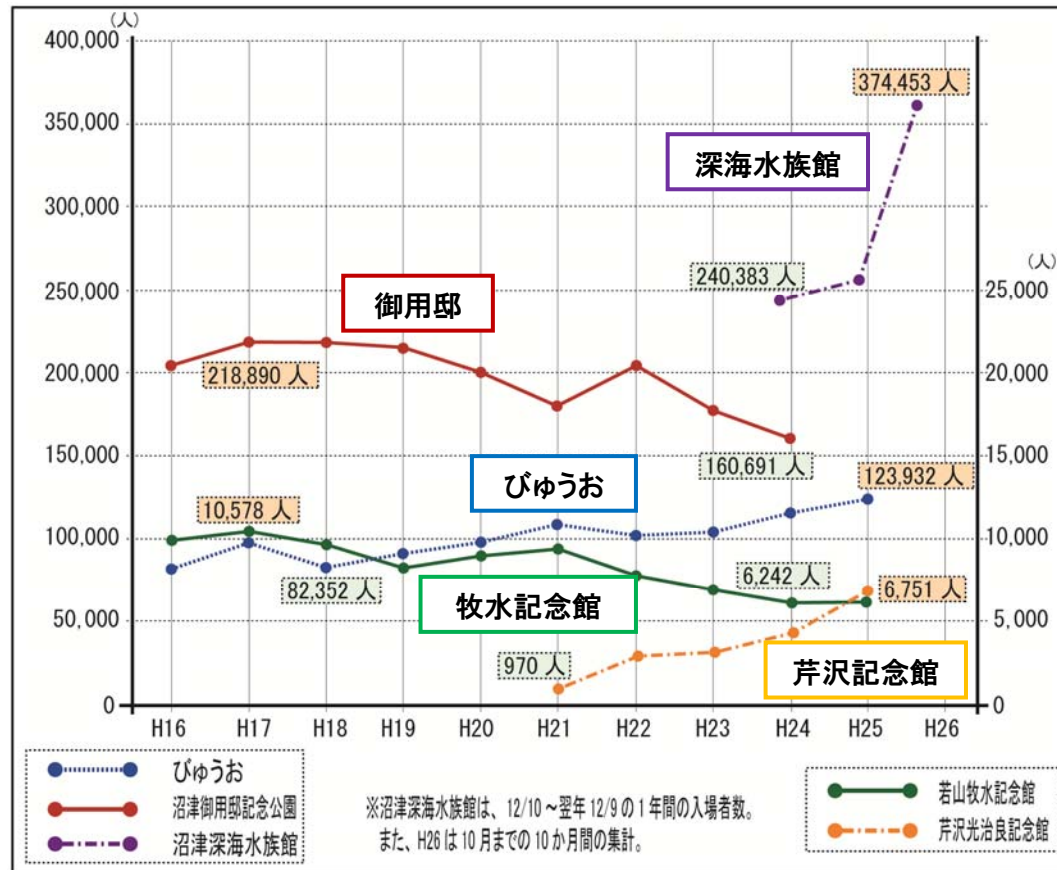


「平成24年度 静岡県観光交流の動向」(静岡県文化・観光部 観光・空港振興局 観光政策課 平成25年11月)記載観光客数、沼津市HPを基に作成

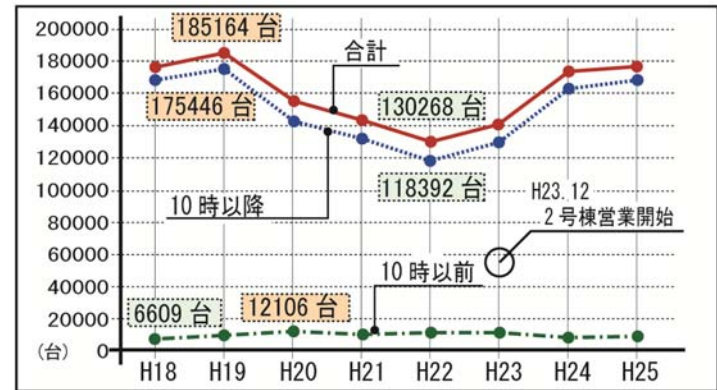
沼津港周辺施設の観光動向

- ▶ 沼津深海水族館、びゅうお、芹沢光治良記念館は**増加傾向**にあり、他の施設は減少傾向を示している。
- ▶ H24年度の沼津御用邸記念公園は、ピーク時の約70%余りの利用者数となっている。
- ▶ ぬまづみなとパーキングはH22年度に最低の利用台数になったが、2号棟完成後持ち直し、増加傾向にある。
- ▶ 1台当たりの利用時間は増加傾向にあり、**利用客の滞在時間が**増加していることが分かる。

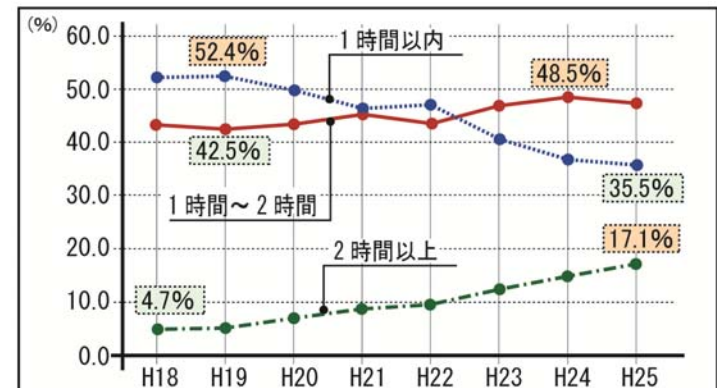
びゅうお等近隣施設の年間入場者数の推移



ぬまづみなとP・利用台数の推移



ぬまづみなとP・利用時間の推移



沼津港および周辺で行われているイベント

◆沼津港で行われているイベント (H26年度・主なもの)

イベント名称	開催日	場所	主催・問い合わせ先	概要
PORT TOWN PARTY	4月20日 (日)	沼津魚市場 第一市場内	PORT TOWN PARTY 事務局	カスタムカーからヒップホップ系ファッションまで、アメリカン・カルチャーの発信地という一面を担う沼津市で、カーショー、ライブ、スワップミートをメインとしたイベント
こいのぼりフェスティバル	4月下旬から 5月5日	港口公園	こいのぼりフェスティバル実行 委員会 (沼津市生涯学習課内)	こいのぼりを港口公園に飾る
第42回沼津水産祭	5月10日 (土)	沼津魚市場 周辺	沼津水産祭実行委員会 (沼津魚市場内)	沼津を代表する海のイベント。鮮魚の販売やアジの釣堀、まぐろ大漁輪投げ、お魚作り方教室など。セリを体験できるイベントもある。
第5回ぬまづ港BAR	5月24日 (土)	沼津港周辺	ぬまづ港BAR実行委員会 (沼津魚仲買商協同組合内)	沼津港で水揚げされた新鮮な魚介類をはじめ、港近くの店舗が食を提供。ストリートでは、JAZZの演奏があちこちで繰り広げられる。沼津港の新しい文化として「食と音楽」の港町をイメージした街づくりを提案するイベント
ライジングサンマフェスティバル	10月5日 (日)	沼津魚市場 第一市場	ライジングサンマフェスティバル 沼津実行委員会	気仙沼港で水揚げされた秋刀魚1000尾がふるまわれるチャリティーイベント (第2回)
香月・長世碑前祭	10月5日 (日)	港口公園	沼津千本ライオンズクラブ	沼津市にゆかりのある詩人勝田香月と童謡作曲家本居長世をしのび献花。ぬまづ観光ボランティアガイドが、「出船」や「銀の小箱」などを合唱。
第6回ぬまづ港BAR	10月11日 (土)	沼津港周辺	ぬまづ港BAR実行委員会 (沼津魚仲買商協同組合内)	第5回と同じ

◆周辺で行われているイベント (主なもの)

- 沼津御用邸記念公園：端午の節句飾り (5月)、ぬまづ茶会 (5月)、アジサイまつりと七夕飾り (6~7月)、松籟の宴 (11月)、菊花展 (11月)、沼津ゆかりの皇室写真展 (12月)、桃の節句ひな飾り (2月)、観梅茶席 (2月)
- 若山牧水記念館：若山牧水記念コンサート (5月他)、古楽コンサートシリーズ (11月)、沼津牧水祭 碑前祭・芝酒盛 (10月、千本公園)
- 千本浜：沼津千本浜トリアスロン大会 (2014年で27回目)、千本浜ファミリーマラソン大会 (2014年で第59回目)

参考：沼津市観光web、2014年イベントカレンダーおよび各施設パンフレット

内港周辺の利用状況

利用者層

- 観光バス団体の立ち寄り利用
- 子供連れのファミリー層
- シニア世代の夫婦、グループ
- ヤングカップル、グループ



みなと新鮮館のデッキ



みなと新鮮館内部



港八十三番地と深海水族館



観光バスから降りる団体客



車の多い第1番線を歩く観光客



深海水族館内



人であふれる食堂街



内港越しの富士山の景観



びゅうおに洗む夕日の写真撮影



INO付近の大型バス・一般車の駐車状況



堤防上の観光客



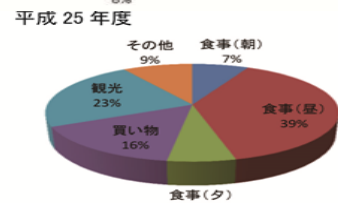
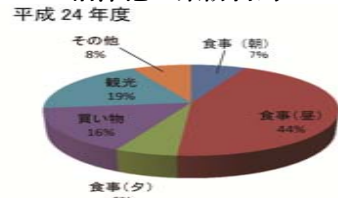
いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

沼津港における「観光」と「食」

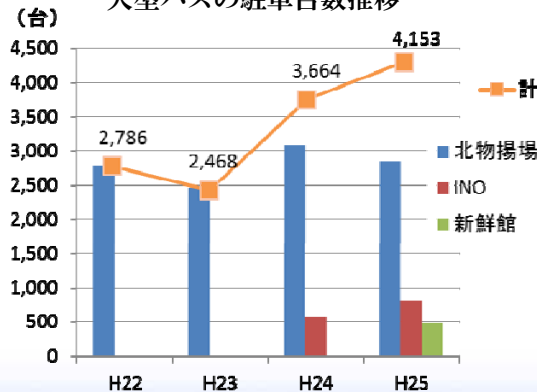
- ▶ 沼津港の来訪目的として半数以上の方が「食事」と回答している。
- ▶ 各旅行会社が関東方面から沼津への日帰りバスツアーを販売し、その多くは沼津港での食事を売りにし、**昼食を沼津港内でとる**行程を組んでいる。
- ▶ 港内での大型バスの駐車台数は年々増加し、平成22年は約2,800台、平成25年には約4,100台に達している。
- ▶ 市の観光振興ビジョン（H18.3）策定時のアンケート調査によると、「沼津の好きどころ、評価しているところ」として、約7割の人が「**食事がおいしい**」と回答している。

沼津港の来訪目的



新鮮館およびイーノ設置アンケート結果より

大型バスの駐車台数推移



各旅行会社による関東方面からの日帰りバスツアーの例

	出発地	経由地点	昼食	経由地点	帰着地
A社	各地	沼津IC	沼津港	伊豆長岡 イチゴ狩り 沼津物産店	沼津IC 各地
B社	各地		港八十三番地	柿田川湧水群 三島大社	沼津土産店 各地
C社	東京	熱海駅	沼津港	江間イチゴ狩り 修善寺温泉	熱海駅 東京
D社	横浜	沼津IC 柿田川湧水群	葦山代官屋敷	沼津港クルージング 沼津港買い物	沼津IC 横浜
E社	東京	小田原買い物	沼津港	沼津港クルージング 柿田川湧水群	沼津買い物 御殿場時之栖 東京
F社	東京	沼津IC	沼津港	修善寺(紅葉) 沼津買い物	御殿場時之栖 沼津IC 東京
G社	栃木	沼津IC	沼津港	御用邸 三島大社	フルーツパーク 沼津IC 栃木
H社	新宿	沼津IC	沼津港	御殿場アウトレット 御殿場時之栖	沼津IC 新宿

インターネット調べ 検索ワード「沼津港」「バスツアー」

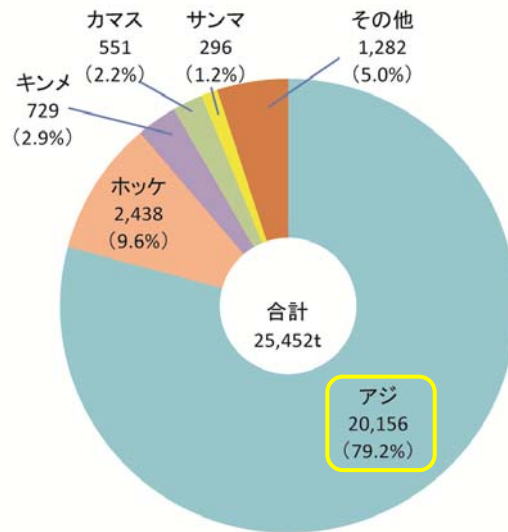
沼津のあじの干物

- ▶ **沼津のあじの干物**は、大正初期から生産されており、**生産量は全国一**を誇る。
- ▶ 魚の多い駿河湾、低い湿度、少ない雨、強い西風などの好条件と生産者の努力により**地域産業として発展**。
- ▶ 「沼津ひもの」は地域団体商標制度により、商標登録されている。
(県内では「駿河湾桜えび」「焼津鰹節」「丹那牛乳」「三ヶ日みかん」「掛川茶」等が登録。)



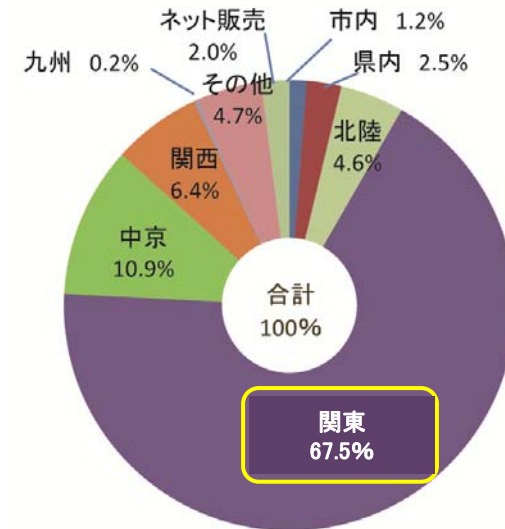
参考：沼津市HP、特許庁HP

沼津市の出荷品目別生産量



(水産海浜課 平成22年度ひものアンケート) ※回答率88%

あじ干物の出荷先



(水産海浜課 平成22年度ひものアンケート) ※回答率86.7%

- ▶ 沼津市のあじ水産加工品（塩干物）の**全国シェアは40%**（全国1位）
※平成22年度の全国生産量は、46,635t

- ▶ 製品の多くは**関東**へと出荷している。

沼津の深海魚

- ▶ 駿河湾の特性を生かした**深海魚の活用も注目**されている。
- ▶ 例えば、戸田地域ではタカアシガニ漁が盛んで、底引き網と一緒に獲れる、アオメエソ（メヒカリ、トロボッチ）、ニギス（メギス）等の深海魚を唐揚げや干物、すり身にして漁業者の家で食べていた。
- ▶ かつては廃棄や自家処分していた「雑魚」の**深海魚を地域ブランド**として売り出す取組も進められている。

メギスの干物



メヒカリの丸焼き



参考：戸田漁協HP

メヒカリの唐揚げ



メギスのすり身を利用したはんぺん



ヒウチダイの刺身



ゲホウの刺身



タカシガニ

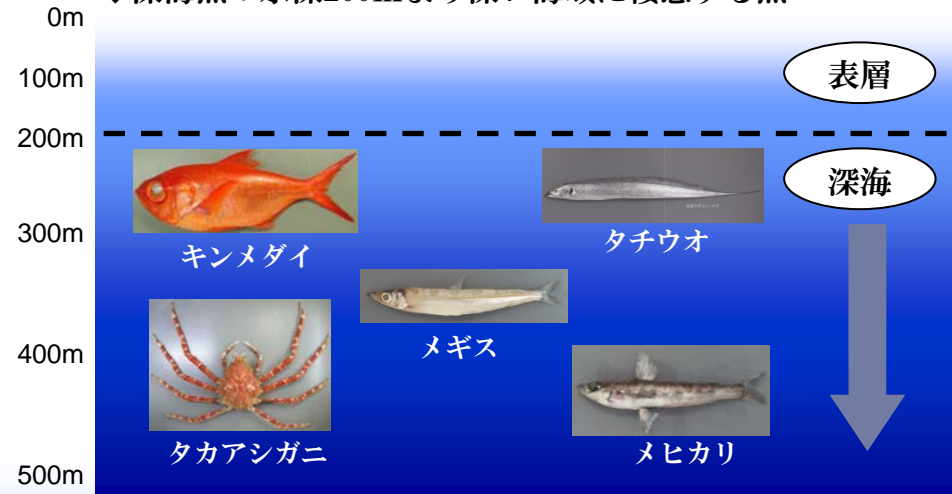


メギスの刺身



参考：沼津市観光WEB

◆深海魚：水深200mより深い海域に棲息する魚



4. 沼津港の進むべき方向性

- ▶ 沼津港の「強み」を考える ……28頁
 - ・ SWOT分析

- ▶ 沼津港の方向性（素案） ……29頁
 - ・ 沼津港の目指す姿とは？
 - ・ 誰を対象にするのか？

沼津港の「強み」を考える（SWOT分析）

強み（Strengths）

- ・駿河湾と富士山の眺望、千本松原などの優れた景観
- ・港商店街の活気と沼津ブランド「干物」や海鮮を楽しむ食文化
- ・皇族や文化人に愛された風土、歴史の重み
- ・首都圏からの近接性
- ・おもてなしの力

弱み（Weaknesses）

- ・沼津港から周辺地域への回遊性の不足
- ・放置艇の存在など水域利用が整理されていない。
- ・外港地区の貨物が整理されていない。
- ・内港に物流機能が残っている。
- ・内港の開発用地の限界（駐車場不足など）
- ・沼津市民の来訪が少ない。
- ・沼津港の魅力に関する情報発信力の不足
- ・港内景観の統一感の不足

機会（Opportunities）

- ・富士山世界文化遺産登録
- ・伊豆ジオパークの登録（世界ジオパーク）へ向けた動き
- ・韮山反射炉の世界遺産登録へ向けた動き
- ・沼津港周辺の多彩な交流イベント

脅威（Threats）

- ・地震・津波発生リスク（賑わいと防災の両立）
- ・西伊豆定期航路の撤退
- ・伊豆縦貫道整備に伴い沼津がスキップされる可能性
- ・少子高齢化による客層の変化

沼津港の方向性（素案） 沼津港の目指す姿とは？

- ・愛鷹山越しの見える富士山
- ・狩野川と駿河湾
- ・伊豆の海岸線
- ・千本松原

見る

- ・干物を展示販売する元気な商店
- ・大型展望水門びゅうお
- ・活気ある市場の風景
- ・港の穏やかな水面

学ぶ

- ・皇室や文化人に愛された風土
- ・深海魚など駿河湾の生物の生態
- ・ジオパークを生んだ自然
- ・駿河湾の自然を活かした食文化
- ・ユネスコ無形文化遺産の「和食」

味わう
「食」

- ・沼津ブランド「干物」
- ・市場に集まる様々な海産物
- ・地元漁師の味
- ・深海魚を活用した新たな料理
- ・塩鯉など伊豆半島特有の食材

既に一定の評価を得ている「食」を“入り口”に、
高質な「見る」「学ぶ」へ展開する。



学ぶ

“くつつろぎ”



自然



食



見る



味わう

食を中心とした“にぎわい”の空間と、
景観や文化を活かした“くつつろぎ”の空間の対比を楽しむ。

沼津港の方向性（素案） 誰を対象とするのか？

例えば、「地域・地元の人」

- ・ 駅から徒歩圏内
- ・ 路線バスも豊富
- ・ 潮の音プロムナードや蛇松緑道の存在
- ・ 千本浜公園や港口公園等、憩いの場の存在

地域・地元の人が誇りを持ち、自然・景観を楽しみ、文化を学び、食を味わう。その良さが、地域から県内外に発信される。

例えば、「観光客」

- ・ 首都圏から近い立地
- ・ 他にない優れた自然環境と景観
- ・ 文化人・著名人の愛した保養地
- ・ 駿河湾の恵みを活かした食文化

本物志向の観光客は、地元で愛される景観・歴史・食文化を求める。首都圏を中心に全国の観光客を呼び込む。

5. 沼津港の将来像（素案）

基本理念

“ここにしかない” 魅力ある沼津港

普遍の価値を持つ日本人の心の源「富士山」と、古来から大切に育まれた「千本松原」にいだかれ、住民が誇りを持ち、訪れた方の笑顔が心地よい水面に映える、ここにしかない、ここでしか得られない価値を次世代へ繋げていく「みなとまち」

進むべき方向性

見る、学ぶ、味わうことを一体で体験出来るという沼津港の魅力を地域の人が誇りに思い、その魅力を訪れる方と分かち合うという本来の観光の姿を見据えた「住んで良し、訪れて良し、そして、商いをして良し」の三方良しの「みなとまち」づくりを目指す。

基本理念の実現による効果

沼津港が、その見るべき景観、学ぶべき文化・歴史、味わうべき食等の魅力を地域内外に発信することで、周辺地域への継続的な集客効果が生まれ、港湾を基礎とする水産業と観光業や飲食業を中心とした地域経済の発展に寄与するとともに、県東部・伊豆地域の発展の核となる。

6. 第1回有識者会議発言要旨

沼津港ならではの“ONLY ONE”の魅力

- ・「沼津港」をほかの港の名前に変えても成り立ってしまう理念ではよくない。
- ・沼津港は「港の日常」が魅力ではないかと思う。
- ・魅力は何か一つに絞った方がいい。いろいろ羅列すると目移りしてしまう。
- ・ONLY ONE。沼津港ならではの何かがほしい。
- ・「ここでしか」と言うのが最重要。
- ・観光でやっていくという認識は皆同じ。沼津港にしかないものを目玉にした空間を作り上げる必要がある。

周遊性

- ・沼津港はにぎわっているが、「点」であり周囲への広がりがない。周遊性がほしい。
- ・沼津港の内港のように、歩いて一周回れる所は全国的にも珍しい。びゅうおを活用しない手はない。
- ・沼津港の客の増加が市内や伊豆方面の客の減少につながらないように注意が必要。

ターゲットの明確化

- ・単に「観光客」ではなく、日本人なのか、外国人なのか、一見さんなのか、リピーターなのか、ターゲットを明確化させる必要がある。

短期、長期の集客戦略

- ・沼津港に客が入っているのは、団塊の世代のシニア層が多いから。
- ・最近の若い世代は海や魚から離れており、10年、20年先も続くとは思えない。
- ・リピーターを生み、来るたびに楽しませる戦術も重要。1回目は「食」目当て、2回目以降は「食」以外にも実は・・・のような戦術。

その他

- ・沼津に住む人が良さを発信していくことが重要。
- ・レジャー施設は飽きられると廃墟化する。
- ・観光客の動向をみると、「食べる」「買う」がメイン。残りの魅力の一つである歴史や文化は、浸透していない。これらをいかに売り出すかがポイントになるのでは。

7. 今後の予定

平成26年度						平成27年度					
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	<p>◆第1回 有識者会議 (11/26)</p> <p>○基本理念・方針の視点</p>	<p>◆第1回 策定委員会 (12/1)</p> <p>○基本理念・方針の助言</p>	<p>◆第2回 策定委員会</p> <p>○地元意見聴取</p> <p>○基本理念・方針の整理</p>	<p>◆第2回 有識者会議</p> <p>○基本理念・方針の確定</p> <p>○ゾーニング</p>	<p>◆第3回 策定委員会</p> <p>○具体的施策と将来像 (案)</p> <p>○イメージ図下絵作成</p>						
					<p>◆第4回 策定委員会</p> <p>○将来像 (案)</p> <p>○イメージ図 (案)</p>			<p>◆第3回 有識者会議</p> <p>○策定委員会から報告</p> <p>○将来像策定</p>			
									<p>◆第5回 策定委員会</p> <p>○将来像に基づく実施工程の策定</p>		

◆ 有識者会議

◆ 策定委員会

※会議回数は必要に応じて増減する場合あり。